



日・EU間の戦略的パートナーシップ

欧州連合（EU）と日本の戦略的パートナーシップは、長年に及ぶ協力関係や民主主義、法の支配、人権、良いガバナンス、多国間主義および開かれた市場経済など共通の価値や原則に基づいています。日本はEUにとって、同じ考えを共有するパートナーのうち、最も緊密な関係にある国の一つです。新型コロナウイルス感染症の危機への国際的対応でEUと日本は、国際協力と連帯の促進に協力して取り組むとともに、ワクチンの世界各地への分配や、将来のパンデミックへの備えを強化するための連携に力を入れています。また、EUと日本は、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の実施を加速するために協力している、共に世界の主要な開発援助提供者です。

共通の価値と繁栄に向けた枠組み

2019年2月以降、EUと日本の戦略的パートナーシップは、2つの主要な協定に基づいています。

戦略的パートナーシップ協定

- EUと日本の中で締結された初めての枠組み協定
- 地域や世界の課題など、共通の利益を有するさまざまな分野にまたがる協力と共同行動を促進

経済連携協定

- EUの主要な貿易協定の一つ
- EUと日本双方の生産者のために、貿易を円滑化し、コストを下げる
- 日・EU間の貿易を促進

貿易

EUと日本は、ルールに基づく開かれた国際貿易と強い世界貿易機関（WTO）を支持しています。

日本とEUを合わせて
世界のGDPの約4分の1



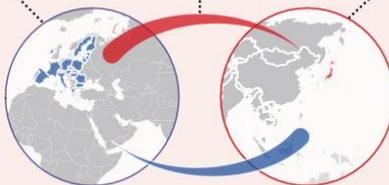
3 EUは日本にとって第3位の
の貿易相手

626億
ユーロ

2019年のEUの対日輸出
額は過去最高を記録

2019年のEUの対日輸入
額は過去最高を記録

630億
ユーロ



経済連携協定（EPA）の主な成果



EUのワイン生産者の輸出機会の拡大



伝統的農産品の模倣に対する保護の強化

気候変動・エネルギー・環境

EUと日本は、**気候中立への移行**を加速するため、二者間の協力を深化させています。日本は、**パリ協定**を履行し、英国・グラスゴーで開催される**2021年の国連気候変動枠組条約（UNFCCC）締約国会議（COP26）**を前に国際的な**気候目標**を引き上げる上で、EUにとって極めて重要なパートナーです。EUと日本は、**G7やG20、「循環経済および資源効率性に関するグローバルアライアンス」**において連携し、また中国・昆明で開催される**2021年の生物多様性条約締約国会議において野心的な世界の「ポスト2020多様性枠組み」**を実現するために協力しています。

日・EUグリーンアライアンス

EUと日本は、以下の目標に関する野心的な取り組みを加速するため、グリーンアライアンスを立ち上げることとなりました。



域内および世界で持続可能で安全かつ手ごろな価格の**エネルギー供給**を確保するための協力

- » 企業間の強固な連携
- » 再生可能エネルギー、水素、バッテリーおよび低炭素製品の促進に関する産業協力
- » 洋上風力エネルギーやグリーン水素に関する合同ワークショップの2021年の開催
- » 雇用創出や気候中立化を支える潜在能力

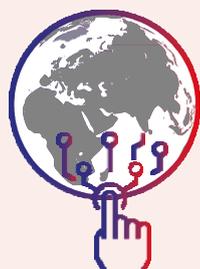
地球規模の環境問題に取り組むため、以下の分野での協力

- » 循環経済への移行を促進
- » 資源効率性の向上
- » 海洋ごみを含むプラスチック汚染対策
- » 生物多様性行動を通じた自然の保護
- » 2021年、EUと日本はプラスチック資源の循環や生物多様性支援における企業の役割について協議
- » 欧州バウハウスのような取り組みの国際的目標の推進

連結性・デジタル・産業・運輸・研究

2019年、EUと日本は、特に持続可能性や公平な競争環境など、共有する規範や基準、価値に基づき、**エネルギー**（上記参照）、**デジタル**、**運輸**および**人的交流**の分野の取り組みに関する「[持続可能な連結性と質の高いインフラに関するパートナーシップ](#)」に署名しました。

EUと日本は現在、二者間での取り組みのほか、西バルカン諸国、中央アジア、アフリカの第三国とも連携しています。



EUと日本が貢献しているプロジェクト例

- » **産業制御システムのサイバーセキュリティ**に関するEU・日本・米国の三者間演習を東南アジア諸国連合（ASEAN）と共に実施（2021年3月）
- » 「**アフリカ・インフラ開発プログラム（PIDA）** 2021-2030」に基づくインフラ開発
- » 貿易、投資、市場統合および民間部門の競争力促進により地域の連結性強化を図る「**西アフリカ経済回廊**」の開発
- » **オルカリア地熱発電計画**（ケニア）への欧州投資銀行（EIB）と国際協力機構（JICA）の共同融資

東京とブリュッセルに事務所を構える日欧産業協力センターの支援の下、**EUと日本は、次のことに取り組んでいます。**





デジタル

EUと日本は、

- ▶ データが安全に流通する世界最大の地域を創出し、二者間で個人データの自由で安全な流通を可能にしています
- ▶ 自由で、開かれた、安全なインターネットを支えるために協力しています
- ▶ 米国と共に、インド太平洋地域のパートナーたちとサイバーセキュリティ訓練を実施しています
- ▶ プラットフォームに関する法的枠組みについて協力しています
- ▶ マイクロエレクトロニクスの将来について連携しています
- ▶ 人工知能に関する合同委員会において協力しています



運輸

2020年、EUと日本は、「民間航空の安全に関する協定」に署名しました。同協定は、航空機や関連製品の日・EU間の貿易を円滑化し、民間航空の安全性や環境適合性に関する日本との協力を一層強化します。



研究・イノベーション

研究・イノベーションに関する日・EU関係は、研究の卓越性の促進や成長と産業競争力の向上を目的に、着実に発展してきました。EUと日本は、EUの研究助成プログラム「ホライズン・ヨーロッパ」と日本の「ムーンショット型研究開発制度」などの戦略的な計画どうしの連携を図り、オープンサイエンスと研究・イノベーション計画への相互アクセスを支持しています。

安全保障・防衛

EUと日本は、世界の平和と安全保障を維持し、航行の自由などルールに基づく国際秩序と多国間主義を促進するため、緊密に連携しています。



EU海軍部隊のソマリア・アタランタ作戦と日本の海上自衛隊は、アデン湾およびアラビア海で頻りに合同海上訓練を実施しています。2020年10月には、ジブチへの共同寄港を実施し、2021年5月には、EU・日本・ジブチの三者間で実施された海賊対策の訓練を行いました。



EUと日本は、「[EU CRIMARIOプロジェクト](#)」を通じてなど、東南アジアやアフリカのパートナー諸国のために海洋安全保障や平和維持活動の分野における訓練や能力構築の提供について協力することを検討しています。また、安全保障・防衛に関する定期的な協議や、サイバーセキュリティ・不拡散・宇宙などの分野に関する専門的協議を開催しています。日本は、EUがサイバーセキュリティ、海洋安全保障、危機管理、テロ対策の分野でアジアのパートナー諸国との協力を促進する、「アジアにおけるアジアとの安全保障協力の強化」プロジェクトを最初に実施する6カ国のうちの一つです。